

応募締切

11/24 (火) 必着!

韓国語を話して楽しむ! 力試しの場
話してみよう韓国語
に参加してみませんか?

第16回 鳥取大会 募集要項

▽ 2人1組で挑戦 ▽ <中高生スキット部門> ▽ 2人1組で挑戦 ▽ <一般スキット部門> ▽ 1人で挑戦 ▽ <スピーチ部門>

3部門の出場者を大募集

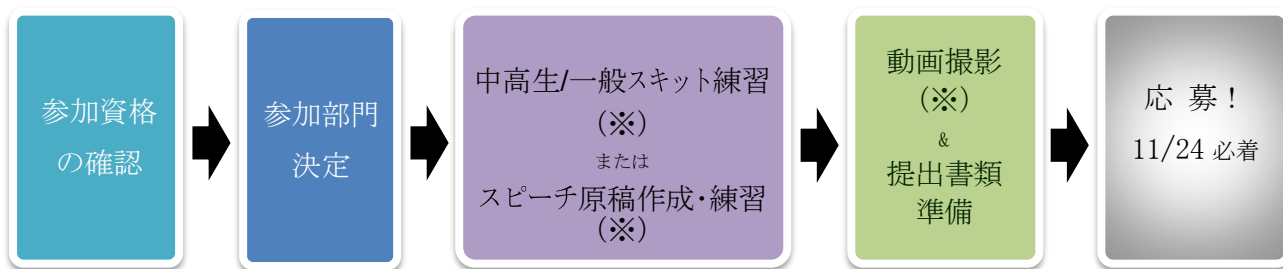
韓国語を学んでいる初級・中級学習者の皆さん、この機会に日頃の学習成果を試してみませんか? 最優秀賞受賞者には豪華な賞品が贈られます。

あなたのご応募をお待ちしています!

(注) 本大会は「外国語としての韓国語」を学ぶ人のための大会です。韓国語を使って日常的に意思疎通をされている方のご応募はご遠慮ください。

※応募締切: 2020年11月24日(火) 必着 (応募多数の場合、一次審査で本審査への出場者を選抜します。)

♪ 応募までの流れ



※練習及び動画撮影の際、新型コロナウイルス感染症への対策をお願いします。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため「映像審査」で行います!
山陰地方にお住まいの方で、これまで会場が遠くて参加出来なかった方も
ふるってご応募ください!

主催: 鳥取県、駐大阪韓国文化院 共催: 駐大阪韓国文化院 世宗学堂

◇ 開催趣旨： 韓国語を話して楽しむ！力試しの場

- 「韓国語の初級学習者でも参加でき、学習者と指導者、友だちや家族の皆さんが韓国語を学ぶ楽しさを感じられる、そんなスピーチ大会があれば…」という思いから、2003年に東京と大阪で誕生した「話してみよう韓国語」は、2005年の「日韓友情年」を契機に全国に広がり、各地域の特色を生かした大会として開催されています。
- 初級から中級以上の学習者向けの部門があり、学習歴に応じて繰り返し挑戦することができるため、中高生、大学生、会社員、主婦など、様々な年齢や職業の方々が毎年参加しています。
- 本大会が全国の韓国語学習者の励みとなり、そのすそ野が広がることを期待しています。



この大会には、『中高生スキット部門』、『一般スキット部門』、『スピーチ部門』の3つの部門があります。

《鳥取大会の紹介》

山陰地方で韓国語を勉強している皆さん！この大会で日頃の力試しをしてみませんか？スキット部門ではペアを組んで楽しい韓国語の寸劇を、スピーチ部門では自由なテーマであなたの思いを聞かせてください。

◇ 各部門別参加資格・説明・提出物について

中高生スキット部門 <2人1組で挑戦します>

制限時間3分。指定の台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加することができます(本文全体の3分の1程度まで)。なお、制限時間の範囲内であれば自由創作部分のアレンジは可能です。台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、発表時に使用出来るのは、机1台、椅子2脚、ホワイトボード1台(もしくは壁などの利用可)の他、身の回り品程度の小道具とします。BGM 等音声を使用することもできますが、審査の妨げとなるため、台詞と重なる形で音声を流すことは控えてください(※入賞者の映像を YouTube で公表予定のため、BGM 等音声については著作権の使用手続き及び使用料が不要なものに限る)。

○ 参加資格

- (1) 日本国内の学校に在籍する、韓国語を母語としない中学生又は高校生で、応募締切日(11月24日)の時点で満20歳未満の者。国籍は問いません。
- (2) 応募時に韓国語学習歴が2年以内で、学校等での学習時間が100時間までを目安とする初級学習者、韓国語能力試験初級 TOPIK I (1級)未滿又は「ハングル」能力検定試験5級程度の者。
- (3) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して6カ月以内の者。
- (4) 独習者は、学習歴・学習時間が(2)に準ずる者。
- (5) 応募時点から過去1年以内に、本大会及び他の韓国語スピーチコンテストの本選で最上位(最優秀賞、大賞、優勝など)を受賞したことがない者。

○ 応募に必要な提出物

参加申込書 (応募者2名分の参加申込書を同一の封筒等に入れて提出してください。)

スキット台本の完成版原稿の電子データ

(韓国語及び日本語訳各1部をCD-Rなどの記録媒体に保存したもの)

※アドリブを追加した場合、韓国語・日本語ともに追加・変更した部分ができるようにして送ってください。

スキット台本の演技を撮影した動画データ(CD-Rなどに保存したもの)※MP4、AVI、WMV、MPEG形式で保存

◆優勝者は「話してみよう韓国語」高校生全国大会に出場できます！

■出場高校生のうち各大会の最上位組は、3月に東京で行われる“韓国語の甲子園”高校生全国大会(以下「全国大会」)に出場する権利を得ることができます。

※応募総数が5組以上の大会が対象。

※中学生が最優秀賞を受賞した場合は高校生の最上位組が、高校生の最優秀者が辞退した場合は次点受賞者(高校生)が、出場権獲得。

※応募総数が5組未滿の場合、各大会実行委員会から全国大会事務局へ応募書類等を送付し、事務局側で行う予選審査により選出された数組が全国大会への出場権獲得。

■地方から出場する高校生には、東京までの往復交通費と東京での1泊分の宿泊が提供されます。最優秀賞受賞者は、日韓往復航空券が授与されます。全国大会に出場する高校生は立命館大学のAO選抜一文学部「国際方式」への出願資格が自動的に与えられます。

■全国大会概要 (<http://www.k-culture.jp>)

【日時】2021年3月13日(土)14:00~(予定)

【会場】駐日韓国文化院ハンマダンホール(東京都新宿区四谷4-4-10)

※新型コロナウイルス感染状況により、「無観客での開催」又は「映像審査」など開催方法が変更される場合があります。

一般スキット部門 (旧指定スキット部門) <2人1組で挑戦します>

※韓国語学習歴2年以内の初級の方は、この部門で腕試し!

制限時間3分。指定台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加することができます(本文全体の3分の1程度まで)。制限時間の範囲内であれば自由創作部分のアレンジは可能です。なお、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、発表時に使用出来るのは、机1台、椅子2脚、ホワイトボード1台(もしくは壁などの利用可)の他、身の回り品程度の小道具とします。BGM 等音声を使用することもできますが、審査の妨げとなるため、台詞と重なる形で音声を流すことは控えてください(※入賞者の映像を YouTube で公表予定のため、BGM 等音声については著作権の使用手続き及び使用料が不要なものに限る)。

○ **参加資格**

- (1) 韓国語を母語としない中学生以上の者。国籍は問いません。
- (2) 中高生スキット部門の参加資格に規定する学習歴を超える中学生又は高校生。
- (3) 大学生・一般: 応募時に韓国語学習歴が2年以内で学校等における学習時間が100時間を目安とする初級学習者。大学生の場合、日本国内の学校に在籍する者。
- (4) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して6カ月以内の者。
- (5) 応募時点から過去1年以内に、本大会を含む他の韓国語コンテスト等の本選で最上位(最優秀賞、優勝、大賞など)を受賞したことがない者。ただし、過去の中高生スキット部門最優秀賞受賞者は応募可能。
- (6) 独習者は、学習歴・学習時間が(2)及び(3)に準ずる者。
韓国語能力試験初級 TOPIK I (1~2級)又は「ハングル」能力検定試験4~5級程度の学習者を想定。

○ **応募に必要な提出物**

参加申込書 (応募者2名分の参加申込書を同一の封筒等に入れて提出してください。)

スキット台本の完成版原稿の電子データ

(韓国語及び日本語訳各1部をCD-Rなどの記録媒体に保存したもの)

※アドリブを追加した場合、韓国語・日本語ともに追加・変更した部分が見えるようにして送ってください。

スキット台本の演技を撮影した動画データ(CD-Rなどに保存したもの)※MP4、AVI、WMV、MPEG形式で保存

スピーチ部門 <1人で挑戦できます>

※中級の韓国語学習者は、スピーチ部門へ！ ～あなたの思いを聞かせてください～

- ◆制限時間 5分以内（原稿はA4用紙1ページ程度、1000～1200文字を目安としてください。）
- ◆自由にテーマを設定し、韓国語で皆さんに伝えたいことを作文して暗記し、発表します。
※小道具やBGMは使用できません。演壇を使用しても構いません。

○ 参加資格

次の条件をすべて満たす方であれば、どなたでも応募できます。

- (1)韓国語を母語としない中学生以上の者。中学生～大学生等は日本国内の学校に在籍する者。
- (2)韓国あるいは韓国語を常用する地域等における生活経験が合算して1年以内の者。

○ 応募に必要な提出物

参加申込書

スピーチ原稿の電子データ（韓国語及び日本語訳各1部をCD-Rなどの記録媒体に保存したもの）

※本文には、あいさつや自己紹介を含めないでください。

※スピーチ原稿はパソコンソフト（ワード等）で韓国語の原稿と日本語訳を別々に作成してください。

1行目＝選んだテーマ（副題をつけてもよい）、2行目＝氏名、3行目～本文としてください。

スピーチを撮影した動画データ（CD-Rなどに保存したもの）※MP4、AVI、WMV、MPEG形式で保存

◇ 動画撮影時の注意事項

以下に違反すると失格となる場合もありますので、ご注意ください。

- ① 動画は無編集でお送りください。(音声の加工・修正・吹替え、動画の編集等すべて不可)
- ② 発表内容のみ撮影してください。(挨拶、自己紹介、自己PR、おじぎ等は減点対象)
- ③ 発表内容は必ず暗記してください。(明らかに原稿を読んでいる場合は減点対象)
- ④ フェイスシールド又はマウスシールドを着用する、アクリルボードを設置する、ペアとの距離を空ける等、感染症対策をした上で撮影してください。
- ⑤ スキット部門では、常に正面を向いて撮影する必要はありません。例えばペアで向かい合っていく会話や、身振り手振り等の演技は、総合表現力(感情表現・アドリブ)の点数に繋がります。また表情や口元も確認しながら審査しますので、顔が鮮明に映る角度や明るさに調整した上で撮影してください。
- ⑥ 発表者は撮影開始から終了までの間、画面から離れず、また本人以外の第三者が映らないようにしてください。
- ⑦ カメラを固定し、定点で撮影してください。

◇ 応募方法

各部門で必要な提出書類と記録媒体(CD-Rなど)を同封し、応募先まで郵送するかご持参ください。一度提出された書類等は一切返却できませんので、ご了承ください。※応募後、原稿に変更がないよう、十分に確認してからご提出ください。提出後に不備等がありましたら、至急ご連絡ください。なお、**応募締切後の原稿の変更等は認めません。**また記録媒体による提出が難しい場合はご相談ください。

複数部門への応募はできません。また、応募後に参加者を変更することはできませんので、ご注意ください。

※ 公平な審査のために次の点を必ずお守りください

- ① 声ははっきり聞こえるか、映像に不具合がないか再確認した上で提出してください。録画機器による画質、音質の多少の差は審査対象外ですが、極端に声が小さいもの、映像の乱れが大きいものについては審査が不利になることがあります。
- ② 記録媒体を送る場合は、学校名・所属教室名と氏名を明記してください。(スキット部門はペア2人分)
- ③ 1つの記録媒体に複数組の映像データを入れても構いませんが、各データのファイル名には出場者の氏名を必ず入力してください。
- ④ 動画のファイル形式は、MP4、AVI、WMV、MPEGのいずれかとしてください。
- ⑤ 解像度は、720px×480ps以上、1920px×1080ps以内を推奨しています。

◇ 応募締切

11月24日(火)午後5時 必着

◇ 一次審査（予選）と本審査について

募集状況により、一次審査（予選）を行った上で本審査を実施する場合があります。

【 一次審査（予選） 】 ※原稿と映像を併せて総合的に判断します。

＜中高生指定スキット部門＞ 10組前後を選抜

＜一般スキット部門＞ 5組前後を選抜

＜スピーチ部門＞ 8名前後を選抜

※各部門の応募状況により、一次審査の有無の決定、本審査へ進出する出場者数の変更を行う場合があります。

※一次審査を実施し本審査へ進出できない出場者には、11月下旬～12月上旬頃に一次審査結果（講評）をご本人あてに通知します。

◇ 映像審査（本審査）について

○ 審査基準は次のとおりです。 ※（ ）内の数字は90点満点中の配点です

部 門	審 査 基 準
中高生スキット部門 一般スキット部門	・発音(50点)―発音の正確さ、イントネーション、聞き取りやすさ ・総合表現力(40点)―話す速度、強弱、感情表現、身振り手振り(アドリブ)、会話の自然な流れなど
スピーチ部門	・発音/表現(50点)―発音の正確さ、イントネーション・強弱、話す速度、聞き取りやすさ、感情表現 ・内容/構成(40点)―テーマの明確さ、内容(話の深さ、展開の面白さ、オリジナリティ)、起承転結、語彙・誤用 など

※発音・イントネーション等の基準について：

本大会では、ソウルを標準語とする韓国語を基準にして審査を行います。

○ 減点基準は次のとおりです。 ※上記90点満点から減点します（減点対象に該当する場合）

部 門	審 査 基 準
全 部 門	・発表内容以外(挨拶、自己紹介、自己PR、おじぎ等)を含む場合 ・声を発した瞬間から3分(スキット)、5分(スピーチ)を超えた場合、6秒ごとに1点減点 ・明らかに原稿を読んでいる場合 ・発表の途中、セリフ忘れなどにより明らかに止まってしまった場合

◇ 結果発表について

本審査の結果(入賞者)は、12月19日(土)に鳥取県ホームページで公表し、入賞者の映像はYouTubeで公開する予定です。また、本審査の対象者には個別に審査結果及び賞品を送付します。

なお、「話してみよう韓国語」高校生全国大会事務局から、全国大会へ出場する高校生に対し、後日出場案内をさせていただきます予定です。

※審査の都合上、結果発表日を変更する場合がありますが、その際は鳥取県ホームページによりお知らせします。

◇ 賞 ※予定 (素敵な賞品をご用意しております)

○最優秀賞：各部門1グループ(名)ずつ

- 中高生スキット部門：賞状、「話してみよう韓国語」高校生全国大会への出場権(高校生のみ)
※東京までの往復航空券・宿泊を提供
- 一般スキット部門：賞状、図書カードまたは商品券
- スピーチ部門：賞状、図書カードまたは商品券

○優秀賞：各部門1グループ(名)ずつ - 賞状、副賞(各部門共通)

○奨励賞：各部門1グループ(名)ずつ - 賞状、副賞(各部門共通)

○努力賞：上記入賞者以外の参加者 - 記念品など

(ただし、一次審査を実施した場合は、本審査へ進出した出場者に限る)

※中高生スキット部門の応募総数が5組以上となった大会にのみ全国大会出場権が授与されます。

※全国大会に出場する高校生は立命館大学のAO 選抜一文学部「国際方式」への出願資格が与えられます。

※応募が5組未満の部門は、優秀賞、奨励賞のみ、4組未満の部門は努力賞のみとなりますので、予めご了承ください。

※大会の都合により、副賞の内容が変わる場合があります。

◇ その他

入賞作品及び入賞者情報(氏名、学校名・所属教室名)については、鳥取県ホームページ及びYouTube で公開する予定ですので、あらかじめご了解のうえご応募ください。

参加申込書の提出をもって、本大会の募集要項を十分に理解し、応募要件を満たしていることとします。
仮に韓国語学習歴等の記載が虚偽と認められる場合、参加または受賞が取消となります。

応募・お問い合わせ

鳥取県交流人口拡大本部観光交流局交流推進課 韓国交流担当

〒680-8570 鳥取市東町1丁目 220 番地 (本庁舎6階)

電話 0857-26-7842 ファクシミリ 0857-26-2164

[受付時間] 平日 8:30~17:15

※『話してみよう韓国語第16回鳥取大会』の情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

募集要項、スキット台本及び参加申込書のダウンロードもできます。

ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/kouryusuishin/>

電子メール inouemar@pref.tottori.lg.jp